



クラブ会長ターゲット  
「奉仕して学び向上しよう」  
"Serve, learn and improve"  
2022-2023年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
杉浦孝浩



国際ロータリーテーマ  
「イマジン ロータリー」  
"IMAGINE ROTARY"  
2022-2023年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ



衛星クラブ議長ターゲット  
「自主性を持った奉仕と運営」  
"Independent Service  
and Management"  
2022-2023年度  
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長  
小松啓祐

2023年6月7日  
東京臨海 RC 【第1277回例会】  
東京臨海北斗 RSC 【第86回例会】

東京臨海RC  
創 立：1994年8月8日  
会 長：杉浦孝浩  
副 会 長：酒井教吉  
幹 事：井上晴貴  
プログラム  
構成委員長：伊佐康暢  
(会報担当)

東京臨海北斗RSC  
創 立：2020年12月18日  
議 長：小松啓祐  
副 議 長：大貫翔吾  
幹 事：井上晴貴

### 6月7日の卓話

「親睦からの会員増強」  
親睦活動委員長 佐久間裕章様

### 6月14日の卓話

「ハラスメント社員を生まないために  
知っておきたい男女心理」  
男女コミュニケーション心理士  
小室友里様

### 《2023年5月24日例会報告》 東京臨海 RC 第1276回 東京臨海北斗 RSC 第85回

司会：内海会員

■ 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長  
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長



- ロータリーソング斉唱「日も風も星も」  
：ソングリーダー：吉成副委員長
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和  
：佐藤大輔パスト会長



■ ビジター紹介：高吉会員  
川添教人様（渡辺会員ゲスト）

■ 会長報告：杉浦会長

- ・ 本日は、青少年奉仕部門フォーラムを13:05より開催のため卓話は行わず、例会を13:00で終了させて頂きます。

■ 幹事報告：井上幹事

- ・ 8月6日（日）実施の「江戸リパークリナーフェスタ参加者募集」のメールを5月22日に会員の皆様へ送信しました。  
参加人数を把握させていただきたいので、「参加人数確認書」を5月31日までに東京臨海ロータリークラブ事務局へメールで返信をお願いします。
- ・ 次週、5月31日は特別休会です。  
次回例会は、6月7日です。



■東京臨海北斗 RSC 議長報告：小松議長

- ・「東京臨海北斗 RSC 臨時総会」を6月14日例会後13:30より開催致します。欠席の場合は、6月7日までに「委任状」を事務局までご提出下さるようお願いいたします。

■委員会報告

- ・青少年奉仕委員会（大西委員長）  
本日例会後、「青少年奉仕部門フォーラム」を開催します。
- ・ロータリー財団（田村委員）  
5月10日及び17日にお預かりしたロータリー財団への寄付金を送金しました。合計金額は2,117ドル(287,912円)です。ご協力ありがとうございました。



- ・柴田次期幹事  
次年度活動方針と計画書の提出依頼を次年度委員会担当の皆様へメール送信致しました。ご提出は、6月14日までをお願い致します。
- ・30周年実行委員会（斉藤実行委員長）  
30周年記念事業の予定について



■出席状況報告：榎本委員

東京臨海 RC

会員数：57名  
出席：34名（例会場：34名 ZOOM：0名）  
欠席：23名  
出席率：61.82%

東京臨海北斗 RSC

会員数：29名  
出席：17名（例会場：17名 ZOOM：0名）  
欠席：12名  
出席率：58.62%

■ニコニコ BOX 報告：椎橋委員

（ご意向）本日は、青少年奉仕部門フォーラムです。大西委員長、盛り上げてください。：杉浦会長、井上幹事、柴田会員、勝間田会員、渡辺会員、高橋会員、寺田雄司会員、小松靖教会員、榎本会員、関口会員、橋本会員、熊澤会員、佐久間裕章会員、佐藤大輔会員、秋田会員、樋口会員、曾根会員、笹島会員、伊佐会員、田中会員、沓澤会員、尾身会員、吉成会員、竹下会員、倉田会員、米衛会員、斉藤会員、見浪会員、菅原会員、須藤会員、小林誠会員、萩原会員、小松啓祐会員、入澤会員、大西会員、諫山会員、小田桐会員、岩楯会員、濱田会員、田村会員、大貫会員、山田晃久会員、内海会員、白井会員、今井会員、工藤会員、椎橋会員

【46件 59,000円 今年度累計 2,207,554円】



- 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長  
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長



「2022～2023 年度 青少年奉仕部門フォーラム」  
＜2023年5月24日（水）13:05～14:15＞

- 司会・進行 青少年奉仕委員会 大西洋平 委員長
1. 会長挨拶：杉浦 孝浩 会長
  2. 青少年奉仕委員長挨拶（趣旨説明・進行）並びに「江戸川区における青少年の危機管理及び青少年事業について」：大西 洋平 委員長
  3. 東京臨海ロータリークラブの取り組み
    - ①「青少年奉仕（プログラム）とは」  
青少年交換について  
青少年奉仕委員会：高橋映治 副委員長
    - ②NPO 法人らいおんは一とについて  
社会奉仕委員会：白井正三郎 委員
    - ③RCC について  
青少年奉仕委員会：佐藤 大輔 委員
  4. 会員より、体験・感想など一言
  5. 閉会挨拶：佐藤 大輔 パスト会長





・「奉仕して学び向上するには」学び向上して奉仕することだと思う。まずは自事業を学び向上させて奉仕することにより、更なる学びが生まれ向上し更なる奉仕につながる好循環が生まれると思う。

・ロータリークラブとは何をしている組織なのか。まず理解するために積極的に例会に出席する。

・寄付ありきの奉仕ではなく、オレンジボール大会のように子供に悔しさと感動を与えるような活動。その積み重ねが奉仕ではないか？その結果として新たな関りにつながり自身の向上になっていく。等々

### 【第7グループ議事録】

期 日：2023年5月17日（水）18：30～

場 所：みなとや食堂

参加者：小松啓祐会員（リーダー）、  
佐藤正樹会員（サブリーダー）、  
大澤会員、地引会員、寺田千春会員、藤中会員、  
太田会員

書 記：太田会員

- ① 周りからの助言を受けとるそして助言を受け改善点を見つけ自己評価を向上させることで自己啓発に繋げる。
- ② 地域でのゴルフコンペを開催しゴルフの景品を地元で購入しパーティー開催も地元でし関わりあった仲間で仕事の回し合い向上させる。
- ③ 課題が沢山有るが古参に入ったが新しい会員、年齢が若い会員にノウハウを捧げる。自分も周りに育てて貰ったのでお役に立つ。
- ④ 特に奉仕していないのでロータリーで学び向上するのは自事業を継続することによって向上させたい。
- ⑤ 世界平和より家族を大切にしクラブ奉仕は幹その他は枝と思えばクラブが良くなると駄目だと思うので親睦から奉仕となると思うので微力ながら頑張ります。
- ⑥ 奉仕することによって今まで見えない景色が見えてくる。自分が間違いを起こさなければクラブの皆さんが優しいので周りを巻き込んで地域貢献をしていきます。

## 2022-2023 年度 春の家庭集会報告

テーマ「奉仕して学び向上するには」

### 【第6グループ議事録】

期 日：2023年5月17日（水）18：30～

場 所：寿賀多

参加者：柴田会員（リーダー）、伊佐会員（サブリーダー）、  
佐久間栄一会員、本多会員、椎橋会員、  
井上会員、坂本健太郎会員

書 記：伊佐会員

◎「奉仕して学び向上する」のテーマに沿いフリーディスカッションを行い、以下のような意見が出ました。

・若い人たちとかかわる奉仕。オレンジボール大会などで、勝っても負けても涙している子供たちに感動し、それが奉仕活動の源となっている。このような奉仕を続けながら自分自身も学び向上していきたい。

・こども食堂を自社社員とともに手伝うことで自分の奉仕の要としている。周囲を巻き込み会員増強につなげることにより大きな奉仕も出来、それ自体も奉仕であり、学び、向上になっていると思う。

### 【第1グループ議事録】

期 日：2023年5月18日（木）18：00～

場 所：寿賀多

参加者：大西会員（リーダー）、  
坂本康朋会員（サブリーダー）、  
栗山会員、須藤会員、杉浦会長、鈴木会員、  
諫山会員、曾根会員、大貫会員、

書 記：諫山会員

栗山会員：来期 親睦委員 を務める予定でおり親クラブの元自クラブの活動を認識することで視野が広がり今後のクラブ奉仕を軸に動いていきたい。

大西会員：自ら参加することでその奉仕活動を調べたりしています。

今回、パラボールから携わらせて頂きロータリーの奉仕を活かすことで自分の仕事にも活かせること、行動することで気づきが出来て学んでいます。

坂本会員：ロータリーの奉仕クラブ奉仕・青少年奉仕・職業奉仕など、自身の会社に置き換える事で、今までの考え方の転換することで自社の成長飛躍に繋がる。

スキルアップする事で奉仕が強さになり太い幹になり、更に成長 発展を望む。

諫山会員：今まで奉仕という言葉は知っても参加する行動もなく、ロータリーに入会して例会などで学びながら寄付金や職業勉強会などで自身の意識が変わっています。

今までこのロータリーで会社運営も行動にかわり非常にモチベーションを持てるようになりました。今度は奉仕活動に積極的に参加して取り組みながら学ぶことで向上に繋げていきます。

杉浦会長：自クラブのテーマは非常にシンプルで【人の役に立ちましょう】これがクラブ奉仕の皆が協力しあわないと進まない。このロータリーの会員は同じ目線で平等に出来る。

普段、出会えない方が同じクラブで話が出来て、話も聞ける。それが職業奉仕に繋がる。そして良くなり続けていく事で青少年奉仕、国際奉仕などロータリー言語・共通語でまた更なる人脈が広がり活動に真剣になります。

曾根会員：奉仕して学び向上するには1つの軸に今なっていて行動しています。

人に感謝、クラブ奉仕に積極的に参加することで学び、人の為に動きこれからも頑張っています。

大貫会員：奉仕して利他の精神を思っています。クラブ奉仕が全て、自分自身の気持ちを全力に行動して人の役に立つ。たらいの水は自分に返ってくる。これからも頑張っていく。

鈴木会員：自らが出来るから奉仕が出来るのか？ロータリーに入っているから奉仕が出来るのか？私は偽善者だと思って奉仕をしている。ただそれが見返りを求めてやっているのではなく、私心を捨てて力を尽くしやる事で、上辺のメッキが剥がれて金になるか、皆、ロータリーに入って奉仕をすればよい。

須藤会員：人は皆苦しみ、悲しみを抱えている。人生を振り返り、今の上皇后 美智子さまのお母様とも親しみなかで悩みや悲しみを抱えていました。当時の皇太子とご結婚後、月に1.2回夜電話が鳴り相談や悩みを聞いてきました。

この臨海ロータリーを創設から見てきて、今の臨海ロータリーになるまで、いろんな苦難がありました。そこで鈴木会員と出会い、こんなに頼もしい人と出会った事を今でも覚えています。当時 初代会長の頓挫から問題が起こり、次の会長候補の中村会員の

着任時間がかかった。そんな中、当時の勢力に皆が物を申すなどない中、鈴木会員だけが同じ会費を払っている以上、ここにいる皆は平等。着任を待ちましようという姿勢で待ってくれた。

あれが当時なかったら今の臨海はない。鈴木総代が本当に今の臨海ロータリーを守ってくれた。

今日まで思いを伝え我が道を行く、夢を見させてくれた事に尊敬しています。上下関係なく尊敬しあうロータリーの凄さこのクラブで学び 勉強になり 29名のパスト会長がいて歴史を作った今の自クラブ発展に繋がっています。

最後に

各参加会員の方たちと話をしながら共通言語 ロータリーを知る事で奉仕にかわり、皆でこの時間を普段聞けない話などして貴重な時間を皆で過ごしました。

## 【第2グループ議事録】

期 日：2023年5月26日（金）18：00～

場 所：多恋人

参加者：村社会員（リーダー）寺田会員（サブリーダー）

高橋映治会員、佐久間裕章会員、山田会員、竹下会員、小田桐会員、白幡会員、勝間田会員、今会員、舛本会員、小林誠会員、菅原会員、濱田会員、三宅会員、工藤会員

- ・村社会員：クラブ奉仕や、個人で行っている奉仕の中でリンクしている部分も多いです。初めはお前そんなことなんでやってんのか周りから言われたこともありました。ロータリーで仕事につながり、社員がロータリーに興味を持ち出した。凄くありがたいです。江戸リバークリーンフェスタにも社員を導入したいと思っています。会社もそういったことを通じて向上できればと思っています。
- ・寺田会員：来月で丸3年、会社を大きくしたい思いで入会しましたが、自分の会社が活性していないのにボランティア活動はほど遠い。メンバー同士で頑張っていることに手助けしてくれる。ロータリーに入って、会社、自分自身成長を感じています。次年度親睦委員長を仰せつかりました。皆さんよろしくお願ひします。
- ・高橋映治会員：奉仕＝英語で service です。あまり難しく考えず、ロータリーの中にいるいろいろな人たちを見て、尊敬できる人を探して少し背伸びをして真似てみると自然と背が伸びる。ほんの少しでもいいので背伸びをして自分の向上につなげていければいいんじゃないかと思ひます。
- ・佐久間裕章会員：奉仕ということでクラブ全体を向上させたい。キャスティングを考えると、頭数が揃っていても、実際人手が足りていない。ロータリー活動を通して社業発展に繋げ、自分の時間を設けられるような仕組みができればいいと思ひますので、そういうクラブにしていければいいと思ひます。
- ・山田会員：自分がまだ何も出来てないとしたら、周り



の行動を見て、良い刺激を受けてその力をパワーにして自分なりにそのことを行動につなげていければ、誰しも面白いものができると思います。

- ・竹下会員：今 SAA をやっているなかで皆さんがやっている役回りを楽しそうにやっていると最近認識できるようになってきました。そうなったときに奉仕に対する見方も変わってきますが、自分自身の見られ方も変わってくると思います。その部分が向上していることにつながるのではと思います。
- ・小田桐会員：ボランティアに参加することによって、相手方の笑顔が見れる。疲れていてもよかったなと思える。そのことを糧に会社の人間や家族に実体験を言えるということが自分自身の向上に繋がっているのかなと思う。今後もそういったことに皆さんと共に取り組んでいきたい。
- ・白幡会員：年末にあしなが育英会で募金活動を行った際に、お年寄りや小さな子供たちが募金くださった姿を見て心が洗われました。見返りを求めない奉仕って素敵だなと思っています。私自身クラブの活動にはなかなか参加できていませんが、何か一つきっかけを探してやっていきたい。
- ・勝間田会員：昨年にクラブ幹事を経験させていただいた中で出欠を取るというクラブ奉仕があり、ものすごく我慢が多い年でした。我慢ができるようになったという部分で少し向上できたのかなと思います。行動すれば何かしらついてくると思います。
- ・今会員：月一回の社内で行う安全協議会にロータリーで学んだことをフィードバックしています。またロータリーの仲間のところでお金を使うことを心がけています。
- ・舛本会員：今まで一番奉仕活動を実感できたのはロータリーの活動の中で「パラボール」でした。ハンディキャップを抱えた子たちが販売している商品を通じて世の中の見方が大きく変わり自分自身の向上につながったと思います。
- ・小林誠会員：身の回りのできることからやらせていただく。自分自身のテーマとしてボランティア活動に率先して参加させていただこうと思っています。
- ・菅原会員：この業界でいろんなところに奉仕して自分の向上につなげていく。
- ・濱田会員：産業廃棄物に対する業界の地位を向上させることが職業奉仕に繋がっていくのかなという目標、思いをもっています。
- ・三宅会員：奉仕をし続けることで、結果自分の成長に繋がっていくと思います。その気持ちを忘れずに努めて行きたいと思います。
- ・工藤会員：ロータリーに入って、皆さんを見て刺激を受けて自分自身にテンションをかけていくことが自己成長や向上に繋がっていくと思います。

## 東京臨海ロータリークラブ 30 周年記念のお願いと 鈴木会員の個人寄付贈呈式

会長 杉浦孝浩

5月26日（金）齊藤猛江戸川区長へ、鈴木孝行会員の個人寄付贈呈式と東京臨海 RC 次年度の 30 周年記念事業と東京臨海南 RC チャーターナイト、並びに社会奉仕事業へのご参加のお願いをして参りました。東京臨海 RC 齊藤実行委員長と大西青少年奉仕委員長、東京臨海西 RC 大星会長、東京臨海北斗 RSC 小松議長も同行いたしました。



鈴木孝行会員は毎年 1,000 万円を年 2 回寄付されており、現在累計 24 回で合計 2 億 6,500 万円を個人にて江戸川区へ寄付しております。この寄付は江戸川区の青少年育成や社会福祉の為に有意義に使われております。

この贈呈式を通じて先日開催した「青少年奉仕フォーラム」の実体験を学びました。今年度、私のテーマである「奉仕して学び向上しよう」の実践です。

本クラブの社会奉仕プログラム「江戸リバークリーンフェスタ」の準備状況を説明させて頂きました。

30 周年記念事業においては、齊藤実 30 周年実行委員長から船堀駅前の記念碑モニュメントの説明をさせて頂き、除幕式の招待状をお渡ししました。

また、クラブ拡大事業として東京臨海南ロータリークラブ設立予定の説明をさせて頂き、チャーターナイトの日程の説明をさせて頂きました。

とても有意義な機会となりました。東京臨海ロータリークラブとして更なる奉仕活動を通じて学び、向上して行こうと思う所存でございます。

